

(8) 学校図書館サポーター・図書委員

図書館をオアシスに

武蔵野市立第三中学校 編



1 図書委員会の活動

- ・カウンター業務・・・毎日の昼休みの当番活動は、カウンターでの貸し出し・返却、レファレンス担当、返却本を書架に戻す作業・書架の整備担当、図書館記録担当（来館者数・貸し出し冊数・返却冊数をノートに記録する）に分かれて活動。
- ・書架整理・蔵書点検・・・図書委員は全員が自分の担当書架を分担しており、当番と委員会のときには必ず、蔵書点検・整備を行う。
- ・図書新聞発行・・・各学年で編集し、隔月で発行する「オアシス」という題名の新聞。3年生作成の「2010年の三中図書館貸し出し本 ベスト7」の特集や図書委員のお薦め本は、好評であった。
- ・読書期間の仕事・・・三中では、年2回「読書期間」として、2週間余の朝読書が実施されるが、この期間中の広報活動・学級文庫（朝読書用に各クラスに貸し出される本）の管理を行う。

*なにより、図書委員自身が、本が大好きで、図書館が大好きであるということが、大切である。そのためにも、こうした活動のなかで、一人一人を認め、図書委員としての自覚を育成している。

2 図書館サポーターや用務主事との連携

- ・武蔵野市では中学校の図書館サポーターは1日3時間、週5日間、勤務している。本校では、二人のサポーターの交代勤務である。新規図書のPC登録・バーコード、ラベル、ブッカー等の装備・蔵書点検・書架整備・図書館のディスプレイ、広報、案内・図書委員のカウンター業務の補助等の多岐にわたる業務に携わっている。また、最近では、国語の授業で作成した「本の紹介カード」を生徒の興味、関心を引くようディスプレイするなど、図書館の環境整備に大きな役割を果たしてくれている。その他、図書館広報紙「くぬぎばやし」では、ミステリー特集と題してクイズ形式のミステリー本の紹介を特集。正解者には、手作りの葉プレゼントを用意するという試みも新鮮であった。
- ・用務主事の方々の協力もありがたい。書架の棚板の増設、特製返却ボックス・閲覧用ベンチなども作製してもらっている。特に、閲覧用ベンチは、思い思いの場所と空間の必要な生徒たちにもたいへん好評である。

*図書委員会の活動目標である「図書館をオアシスに」のもと、連日昼休みには、多くの生徒が利用し、落ち着いた中にも、活気ある場所となっている。もともと7年前に台風禍により、元視聴覚室に移動した仮住まい状態の図書館であった。それを、ここまでの環境に整備してきた前図書担当教諭の努力を引き継ぎ、さらに魅力ある図書館を目指したい。

